

血液形態検査の標準化

血液形態検査は、臨床検査において標準化の最も困難な分野の一つです。それは検査者の主観的判断が決め手となる検査であるからであり、形態学的検査全般の大きな課題となっています。

血液細胞形態検査の標準化に向けての取り組みは、すでにかかなりの歴史があり、数多くの努力が重ねられてきました。近年、テクノロジーの進歩により、同じ細胞の画像を多数の検査者が観察したり、細胞判定において特徴的な画像をリアルタイムに参照したりすることが可能になりました。これらは、血液形態検査の標準化を力強く推進するツールとして期待されています。

今回の特集では、これらの事項について造詣の深い先生方に執筆していただきました。この特集が、血液形態検査標準化の推進になにがしか貢献できることを願ってやみません。

(佐藤尚武)